

培養室を大幅にリニューアルしました

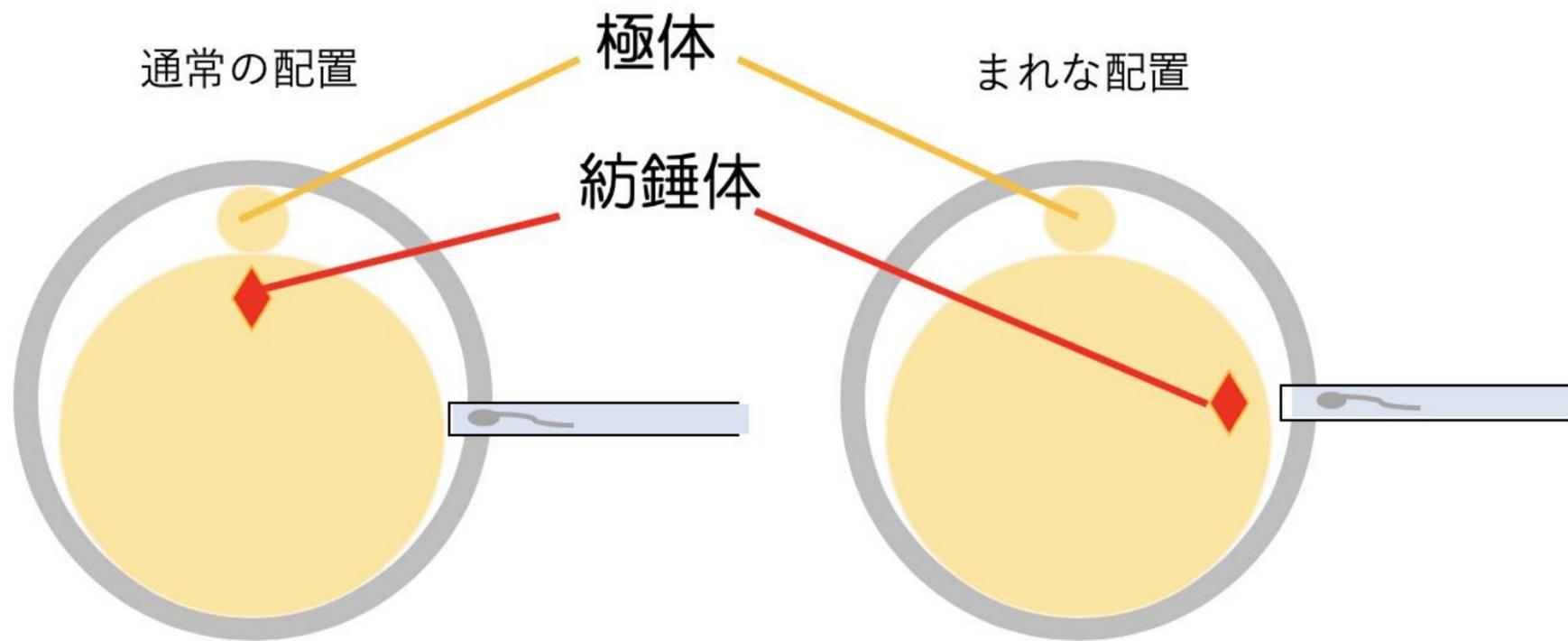


- ①最新のタイムラプスインキュベーターの増設
- ②紡錘体が可視化できる倒立顕微鏡を導入
- ③採卵時や移植時に使用するインキュベーターの新調
- ④アシステッドハッチングに使用するレーザー増設を行いました。

紡錘体を可視化できる倒立顕微鏡とは？

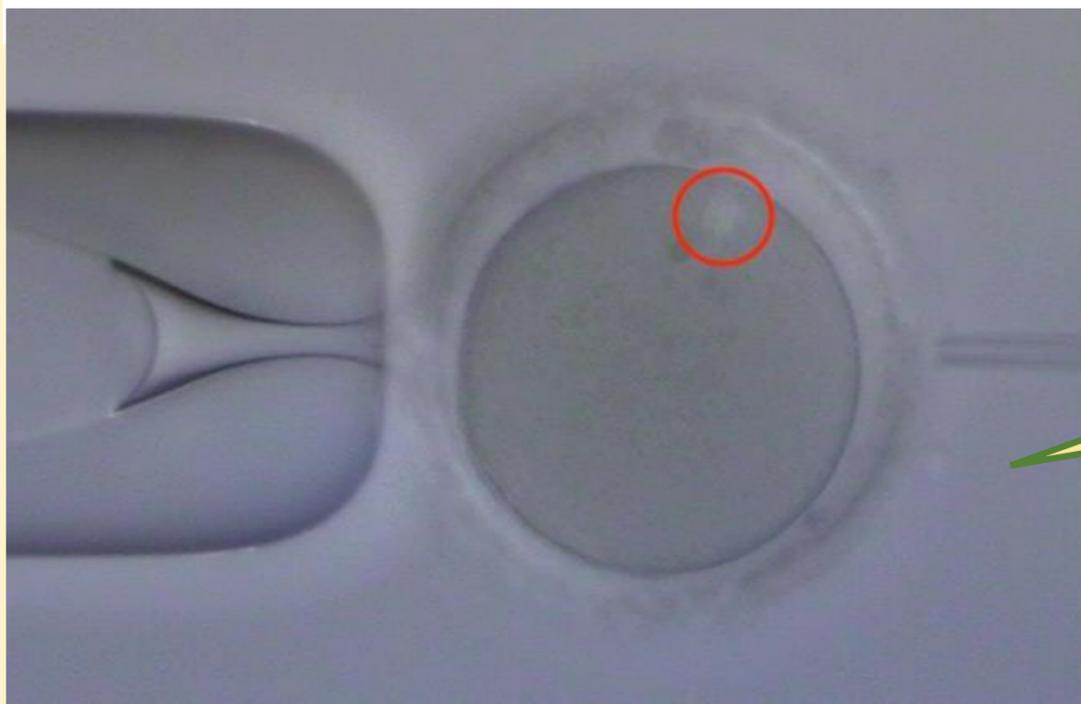
倒立顕微鏡で顕微授精（ピエゾ-ICSI）を行います。

通常の倒立顕微鏡では紡錘体を可視することができませんので、紡錘体を可視化するためには特殊な装置が整った倒立顕微鏡が必要です。



通常、紡錘体は極体の直下に存在するが、まれに違う位置に存在することがある。顕微授精をする際、精子を注入する位置に紡錘体が存在すると紡錘体を傷つけてしまう原因になる。

さらに安全により卵子にやさしいピエゾ-ICSIを行っています



赤い○で囲った白く見えるものが紡錘体です。紡錘体を傷つけないような位置に卵子を保持してピエゾ-ICSIを行います。

ブログにて培養室のリニューアル情報を掲載中です。ご覧いただければ幸いです。